九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

【寄稿】奥田八二先生 生誕100年の会記念スピーチ：学生時代から県立大学での再会を中心に

森山, 沾一
福岡県日中友好協会会長・全国副会長

https://doi.org/10.15017/7148414

出版情報：奥田八二日記研究会会報. 11, pp.350-353, 2023-09-30. 奥田八二日記研究会(九州大学大学文書館内)
バージョン：
権利関係：

【寄　稿】

奥田八二先生　生誕 100 年の会記念スピーチ
～学生時代から県立大学での再会を中心に～

森山　沽一

私、今御指名されまして、話すことになりました森山と申します。

「何か話してくれないか」というような声が、3 日前からあったんですけど、多分私は 5 番目か 6 番目だろうと思ってまして、言われたら話すとさっきも言ったんですね。そう思っていたらもう私が最初に話さないとで、何分話すかと聞いたら時間制限なし。それで 10 分ぐらいでいいですか。どうぞ皆さん食事しながら、話しながら、聞いてください。

私も今年 75 歳なんですよ。それで人生いろいろと経験をするし、七転び八起きという諺（ことわざ）がありますけどですね私は「10 転び、11 起き」という言葉だと思っています。今からもまだ、転んで起きないといけないと。話は多分まとまりもないような話になると思います。ちょっとさっきメモで用意した。今、司会の山本さんが言われたように、たぶん、ご飯はおいしくなると思いますので、ぜひ聞いて頂き、雑談する方は片方の耳で聞いてください。

私は、1 番中心っていうか、とにかく今やってるのは、田川の石炭歴史・博物館、そこの館長をやっております。週 2 日行けばいいんですけどね。

とにかく山本作兵衛というね、92 歳で亡くなった素晴しい人物をユネスコの世界記憶遺産に私たちはしたんです。私は、2002 年に日記類を発見してですね、それを福岡県立大学付属研究所で市民とともに読んできました。今奥田日記も出てて今日ちょっと見させてもらいましたけれども。とにかくですねそれをやってきました。それ以上に、私の原点として、今やろうとしてることは、福岡県日中友好協会の会長を松本龍 3 代目会長のあとを引き受けています。もう帰られたかな。さきほど、すごくいい話を、松本治一郎先生の話をした組坂委員長と私はもうすごく長いおつきあいです。今年は、日中国交正常化 50 年です。沖縄返還に関しても 50 年ですね。

私は 1946 年 7 月、奉天（瀋陽市）に生まれて 100 日で博多港に引き揚げてきてるんです。コロ島から。そのような原点に戻ろうということで今をやってます。

そのほか公益社団法人　福岡県人権研究所の理事長をやってました。さっきちょっと年表、奥田先生の生涯年表を見せてもらったら、1974 年に社会問題研究所は出来てるみたいですけれども、実は福岡部落史研究会というものですね、1974 年設立です。今、公益社団法人になっていますが、私は三代目の会長でした。そして、公益社団法人にしたりしたわけ

ですね。こういったものが私の自己紹介や近況です。

それでですね、さっき山本さんのほうから言われた要望は、学生時代、大学闘争の話をしてほしいとの事でした。私、実は大学 1 年で、社会思想史講義は、奥田先生から聞いてるんですね。そして私はもう地域活動という学生運動の中でも、地域運動から政治運動という当時は、学生運動を産み出すサークルでした。とにかくですね、社研（社会科学研究会）と法研（法律学研究会）、そしてセツルメントです。私はセツルメント活動 1 年生からしていました。

高教組の方々もおられるんですけど今ちょっと病気の由布彰君とかいうの同級ですね。1965 年に入学したときは日韓条約反対運動がありましたけれども、私はほとんどそういうことにかかわることなくて地域活動で子ども会なんかやってました。そしたら、山崎博昭君という方がですね羽田闘争で、警察車輛により殺されたんですね。そういう事件で私は非常にショックを受けて、地域活動もするし大学闘争をすることになったのです。そうすると米軍機ファントムが九州大学箱崎キャンパスに堕ちたんですね。その前に、エンタープライズが佐世保に来ています。

そういうことがあり、私なんかノンセクト、ノンポリ、そしてノンセクトラジカルというような形で、大学 3 年から大学院までずっと動きました。

ここに持参した本は、『ファントム墜落 50 周年記念誌』です。九州大学が、糸島に移るに当たってこれをつくったんです。私どもは、6 人の編集委員で 31 名の執筆により作成しました。今もそのネットワークはあります。その中の人も今日ここに来てますし、奥田日記を編集してる人です。とにかく、50 年の節目、ファントムの 50 年の節目もやってきました。

山本さんが言われたこと、つまり、奥田先生はいわゆる学外でも活動をやっていました。そして、学内では、学生部長になったんですね。私もずっとあとに福岡県立大学で学生部長の経験もしましたけど、当時の学生部長は大変だったでしょう。1969 年の 10 月 14 日、私メモちょっと見たけど見ないでも言えますよ。10 月 14 日に機動隊を入れたんです。それで、さっき八二（はちじ）という言葉を聞いたことがありますと。今日、組坂委員長がすばらしい演説した。松本治一郎さんのこともですね。本当に良いことを言うと、私は今日思って感動して聞いたんですけど。8 時〈八二〉だよ！全員集合じゃなくてですね。機動隊を入れた人たちの中心が奥田八二さんだったのです。機動隊が当時、大学に入るというのはですね、皆さん方も多分、社会運動をやってきてるから、機動隊という権力だと思います。私なんかもうデモ・デモ・デモということで、大学処分されたんですよ私は。実は、その流れで大学から放逐されたのです。しかし、「捨てる人がいれば拾う人がいる」のです。

大学から捨てられたときの私の和歌はですね、「行き詰まり袖に涙のかかるとき、人の心の奥ぞ知らるる」でした。こういうのがあってですね、奥田先生とはかなり距離があるな、思ったりもしていたんですね。

ところが、1992 年に福岡県立大学が出来ました。今日、手嶋前町長（田川郡川崎町）が話をして、手嶋前町長はですね実は今、本つくってるんです。今日話をしたことは、それに詳しく調べて今日話したんですよね。5 月に西日本新聞社から出ますので、ぜひ皆さんも、買って投じることをやっていただいたら、良いと思います。私はそれの校正のお手伝いをしてるんです。とにかくですね、そういった中で「トヨタの話」をしてましたが、それこそ県立大の話はしなかったんですけどね。県立大のことも書いてます。福岡県立大学を筑豊活性化のために、奥田先生が田川につくった。そこに私は佐賀大学から転勤したのです。

そこで私は、日中友好〈中国生まれもあっていろんなつながりをしようとして〉、それで奥田先生なんかともつながるのです。今年 30 年になりますね。江蘇省との友好提携。これ奥田県政でやったわけですね。それなんかのときに、親しく話し始めた奥田知事は、「森山君、君が部落問題やってるっちゅうのは知ってたけど、君は全共闘やっとったんだよな。元気があったな」です。それほど懐の深い人でもあるというふうに思います。そしてですね、実は今日の冊子にも書かれている福留先生などと今、勉強会やっているのです。5 人で勉強会を。その福留先生が、今日のメッセージの最後のほうに「機動隊を入れた」ことをちょっと書いてますね。私読みました。どんなふうに書いてるかっていうと、結局、「自分も東大で（彼は東大ですけどね)、機動隊入れるの反対していた」と。だからそういう反対する人たちが「奥田さん。あんた社会主義者か」「社会主義者は反権力だから、反対できるのに、機動隊をキャンパスに入れるのはおかしいじゃないか」と、いうような人たちがいたし、自分もそう思ってた」。ところが奥田さんは、「実務と」書いてます。実務とね、違う。そういう点では、「入れるべきとこは入れないといかん」というようなことで、ちょっと納得したみたいな書き方をしています。福留先生とは今から議論しますけどね。

ちょっと私もね、レーニンがね、「何をなすべきか」のところでね、「革命に行こうとしたら強盗に襲われた。強盗に襲われて身ぐるみ全部脱いでおいて行け。そうしなければ皆殺す。そのときどうするか」君はどうするか。これは学生時代勉強した本です。どうするか、そしたらレーニンはこう言ってる。「そのときは脱いで全部置いて行け」ただそのあとが大事なんです。そのあとがね、そのとき「妥協したことを、ずっと覚えとけ。そのことを検証しながら生きていけ」と。

奥田先生が、そのことを、学生が騒いでも、こんなことするのかというようなことだけだったら、私は、奥田先生に対して、今でも尊敬はしないでしょう。私の先輩で部落解放運動を筑豊・福岡県・全国でしてきた、羽音豊（はおとゆたか）さんは「墓に入っても闘う」が遺言でした。闘うというのは、デモだけをする、それだけではないのですが。羽音さんはこういう考え方であったし、その影響を幾らか受けてる私は、一歩前進しながら二歩後退しながらも三歩前進したいと思います。

それこそ、奥田先生がね、「大学生の過激派だけは潰してしまえ」だけだったら、人間主義じゃないじゃないですか。それは、私が 1992 年に出会って「君は全共闘でやっとったん

か。それはいいや。それもいい」と言われたことで判りました。ここで、ある意味では、私は懐の深さというのを知ったというような感じがするわけです。

そして今年は、参議院選挙。多分皆さんはもう山本さん始め国民連合とかね、さあ団結でやろうということでででね、いろんな形で活動してると思います。
私は一応学者という立場になってるようで、今日は 5 人ぐらい学者とか来てるとか言ってましたね。

今日、日本初「ユネスコ世界の記録」登録運動を記録した『筑豊・田川万華鏡』（明石書店　2022 年）のチラシを配ってくれたのは、松田初善さんです。筑豊、それから沖縄、部落解放、そして人間の解放。これらはですね、やっぱ私たちはこういった会でずっと続けて、そして日中友好こそ、今ね、いろんなことを含めてね、考えていく必要があるんじゃないかなと思います。

そろそろ時間が来ましたので、終わりたいと思います。どうもありがとうございました。